

## 炎の塔と C スクエア



炎の塔

「炎の塔」は国家試験受験に取り組む受験生や通信教育で学ぶ学生に特別な勉強環境を提供する施設として建設された。創立125周年記念事業関連で行われたキャンパス整備の完成第1号である。2002（平成14）年7月15日竣工、建築面積2,163.34m<sup>2</sup>、延床面積5,510m<sup>2</sup>、鉄筋コンクリート造り地上3階、地下1階。不動の決意の下、炎のように燃える情熱を込めてあたるよう「炎の塔」と命名され、建設資金は弁護士岡田錫淵の寄付金を定礎基金とし全国学員の協力によりまかなわれた。3階正面には本学の伝統を象徴する旧駿河台校舎図書館のステンドグラスがはめ込まれている。

キャンパス整備では、さらに02年2月28日に地鎮祭を行い着工したCスクエア（学生生活関連棟）が、03年4月4日に竣工した。すでに2月5日に完成していたグリーンテラス・白門プロムナードにつながる位置に、鉄筋コンクリート5階建て、延床面積約8,200m<sup>2</sup>で建設され、学友会所属サークル関連施設、ホール、音楽練習室、会議室等の共用施設と軽食堂、シャワー室などで構成されている。

この名称は学生・教職員・学員・学生の父母らから公募し、竣工を前にした3月22日の理事会で決定したもので、中央大学、キャンパス、コミュニケーション、サークルの英語の頭文字4つの「C」で発信される中大学生文化の広場「スクエア」を表している。